

大学院理工学府研究倫理審査委員会記録

日 時 令和4年9月1日（木）～令和4年9月12日

場 所 メール会議

出席者 荒木委員長，後藤，黒田，井上，村上，鈴木，原野，川口，石飛の各委員

議事に先立ち，教職員MoodleにUPされた研究計画の説明動画を各委員が視聴し，Google フォームに回答する形式で審査を行なった。

議事概要

I 審議事項

1 研究倫理審査について（審査案件 No.2022-002）

研究題目：「群馬大学共同研究講座 GU12「AI/XAI 技術を活用した乗員の意識の協見/感情検知技術の研究」における「意識の協見」推定技術研究用の映像・生体情報データ取得」

標記の研究計画について，Google フォームでの各委員の審査結果を取りまとめたところ，全員承認であった。

また，審査中に委員から出された質問等について，申請者へ伝達したところ，別紙のとおり対応等を取るとの回答があった。

以上を踏まえ，委員会の結論として本研究計画を承認し，審査結果通知書を添えて理工学府長へ報告することとした。

以 上

理工学府研究倫理審査委員会 委員からの質問、意見等取りまとめ

案件No.	002
研究題目	「群馬大学共同研究講座GU12「AI/XAI技術を活用した乗員の意識の協見/感情検知技術の研究」における「意識の協見」推定技術研究用の映像・生体情報データ取得」
委員数	9
回答委員数	8
回答率	88.9%

本研究に対する質問等	申請者からの回答
被験者の運転免許の有無及び運転経験の差について確認もしくは制限する必要はないか (これまでの運転経験の有無並びに経験値の差異による被験者に対するストレスの違いに配慮する必要はないのか)	ご指摘のように、運転経験の有無並びに経験値の差異の考慮は重要であり、被験者に対するストレスの違いを配慮し、次のように安全性を確保致します。① 免許不所持の被験者は試験実施対象といたしません。② 運転経験値が低く被験者がストレスを感じた場合、ただちに試験を中止致します。
個人情報の扱いについて、規模や内容からみてご提案の通りでも十分な体制とは思いますが、場合によってはインターネットに接続しないPCに保存すること、USB等のポートを塞ぐこと、PCそのものの持ち去りに対処することなど、より厳密な対策を講じても良いのかもしれないと思いました。	個人情報保護の観点から、ご指摘のように、インターネットに接続しないPCにてデータ保存を行い、直ちにパスワード付きのデータとし、USBによるデータ引き抜き、PC持ち去り等の情報漏洩に対処致します。また、万が一の場合に備え、最新のウィルス対策ソフトをインストールすることも合わせて実施致します。

総合的な判断としての承認状況 (未回答者は承認に数える)		
承認	9 / 9	100.0%
条件付きで承認	0 / 9	0.0%
不承認	0 / 9	0.0%
全学（昭和地区）の倫理審査委員会に諮るべき	0 / 9	0.0%
外部有識者の意見を聞くべき	0 / 9	0.0%
継続審議とすべき	0 / 9	0.0%
その他	0 / 9	0.0%